

第9回 南九州水産海洋研究集会

スジアラ資源について考える

日 時:2023年10月24日 (火) 13:20~16:45

場 所:アマホームPLAZA (奄美市市民交流センター) 3階大多目的室 (鹿児島県奄美市柳町2-1)

共 催:水産研究・教育機構 水産技術研究所, 沖縄県水産海洋技術センター, 鹿児島県水産技術開発センター, 鹿児島県大島支庁

コンピーナー:中川雅弘, 奥山隼一 (水産機構技術研), 松崎遣大 (沖縄水海技セ), 中武凌一 (鹿児島水技セ), 宍道弘敏 (鹿児島県大島支庁)

後 援:奄美市, 奄美群島水産振興協議会

問合せ先:shishidou-hirotooshi@pref.kagoshima.lg.jp

挨拶: 木村伸吾 (一般社団法人水産海洋学会長) 13:20~13:25

趣旨説明: 宍道弘敏 (鹿児島県大島支庁) 13:25~13:30

話題提供

(1) スジアラの基礎生態

座長: 奥山隼一 (水産機構技術研)
宍道弘敏 (鹿児島県大島支庁)

13:30~13:50

(2) 鹿児島県海域におけるスジアラの漁獲動向

中武凌一 (鹿児島水技セ)

13:50~14:10

(3) 沖縄県海域におけるスジアラの漁獲動向

松崎遣大 (沖縄水海技セ)

14:10~14:30

(4) 生息域を北方拡大するスジアラ

中川雅弘 (水産機構技術研)

14:30~14:50

(休 憩)

14:50~15:05

(5) スジアラの体サイズの地域間差

座長: 宍道弘敏 (鹿児島県大島支庁)
奥山隼一 (水産機構技術研)

15:05~15:25

(6) 遺伝子解析からみたスジアラの集団構造

宇治 督 (水産機構技術研)

15:25~15:45

(7) スジアラ卵仔魚の輸送過程

吉井聡一郎 (鹿大院理工)

15:45~16:05

総合討論

座長: 奥山隼一 (水産機構技術研), 宍道弘敏 (鹿児島大島支庁)

16:05~16:45

開催趣旨: ハタ科スジアラ属のスジアラは、亜熱帯域である南西諸島海域の沿岸漁業にとって最も重要な水産資源の一つであり、種苗放流や一部の地域では漁業者による自主的な資源管理が実践されてきた。一方、直近では山口県の日本海側でも漁獲がみられるなど生息域が北方へ拡大していること、漁業法改正に伴って2020年度から本種が新たに資源評価対象種に加わったことなどを背景に、近年、南西日本の広い範囲を研究フィールドとして様々な知見が蓄積されつつある。そこで本研究集会では、スジアラの資源生態や資源動向等に関する最新の科学的知見を水産関係者、行政・研究関係者間で共有するとともに、漁業関係者との意見交換を通じて、可能な限り本種資源の今後の動向に関する近未来予測を行い、水産業界の対応や行政施策、調査研究のあるべき姿を展望する。